

海洋汚染-有毒な化学物質および放射性核廃棄物の投棄

有毒化学物質および放射性核廃棄物の海洋投棄の報告。

2024年12月16日に印刷されました



GMOディベート
優生学に対する批判的な視点

目次 (TOC)

1. ☢️ 核廃棄物の投棄
2. 🇸🇴 ソマリアからの海賊活動
3. 有毒化学廃棄物の投棄
 - 3.1. ヨーロッパの海洋における有毒化学物質の「時限爆弾」
 - 3.2. ☢️ 2023年の🇯🇵日本による放射性水捨て場
4. Fortune500企業による有毒廃棄物の投棄
 - 4.1. 結論

毎年、**1億8,000万トン**の有毒、化学、☢放射性廃棄物が海に投棄されています。投棄は「目に見えない水質汚染」を引き起こし、それは毎年蓄積され増加します。有害廃棄物は150年もの間海水に蓄積されてきました。

産業会社は、海を「**見えない、気にしない**」という考えで底なしの穴として扱います。

陸の大陸よりも大きい海洋のいくつかのゾーンは、魚が住むことができない「デスゾーン」と呼ばれます。



近年ノルウェーで流された数十頭の死んだクジラの赤ちゃんは、生まれる前にすでに有毒な化学物質で汚染されていることを示しており、日本は最近、ノルウェーからの有毒な鯨肉の出荷を拒否しました。

(2021) 死んだ赤ちゃんのシャチは、赤ちゃんクジラの有害な化学物質レベルを明らかにします

2017年にノルウェーで打ち上げられた生後10日のシャチの剖検により、子牛でさえ、これらの象徴的なクジラは有毒な化学物質でいっぱいであることが明らかになりました。

ソース: [Live Science](#)

(2015) 日本はノルウェーの有毒な鯨肉を拒否します

鯨肉の出荷で特定された有毒化学物質は、ノルウェーの捕鯨にスポットライトを当てました。

ソース: [The Guardian](#)

過去数十年間で、すべての海鳥の67パーセントが死亡しました。多くの海鳥種は、今後数十年で絶滅する可能性があります。



(2018) 海鳥は数十年以内に絶滅します

最近の研究では、1950年から2010年の間に海鳥の個体数が67%減少したことがわかりました。「数十年以内に」

ソース: [journals.plos.org](#) | [Eco Watch](#) | [National Geographic](#)

Los Angeles Times

殺虫剤DDTの海洋投棄は犯罪です

ロサンゼルス沖で50万バレルの強力な毒性の高い殺虫剤DDTが水中に放出されるのを待っています。カリフォルニアのイルカはDDTで汚染されており、この地域のアシカは攻撃的な癌で死にかけています。DDTは永続的な（永遠の）化学物質です。

(2022) 科学者たちは、カリフォルニアコンドルにDDT化学物質が蓄積していることを発見しました

長年の研究の結果、Tubbsと環境衛生科学者のチームは、海洋生態系を循環し、この象徴的な鳥の最上部に蓄積している40を超えるDDT関連化合物を特定しました。食物連鎖。



「南カリフォルニアではその存在量が非常に多い」とホー氏は語った。ホー氏は、この永遠に化学物質が新しい予期しない方法で再出現することを発見し続けている。

「私たちはただ先に進むことはできません...私たちの海はDDTではるかに汚染されています。」

オークランドを拠点とする研究では、DDTのホルモン破壊作用が、母親から娘、そして今では孫娘に受け継がれている新世代の女性に影響を及ぼしていることがわかりました。

ソース: [Phys.org](#)

(2022) ロサンゼルス沿岸沖での殺虫剤 DDT 海洋投棄の歴史は、予想よりもさらに悪い

DDT、ジクロロジフェニルトリクロロエタンは50年前に禁止されましたが、その有毒で陰湿な遺産は、カリフォルニア沿岸沖の海洋生態系を悩ませ続けています。

ソース: [Los Angeles Times](#)

☢核廃棄物の投棄

1 972年の海洋投棄法以前は、放射性廃棄物の投棄は米国では合法であり、海洋の健康にほとんど注意を払わずに大規模に行われていました。今日、放射性核廃棄物は、ソマリアの海など、いくつかの国でまだ投棄されています。

西側の産業企業は、ソマリアの海岸線から離れた規制されていない海岸に大量の有害な有毒物質と☢核廃棄物を自由に投棄してきました。地元の人々によると、スイス、イタリア、ドイツ、デンマーク、ノルウェー、スウェーデンの企業が含まれています。

🇸🇴 ソマリアへの国連使節：'誰かがここに核物質を投棄しています。鉛、カドミウムや水銀などの重金属もあります。'その多くはヨーロッパの🏥病院や工場にまでさかのぼることができます。

メディアの注目はありません！

ソマリアの海での放射性廃棄物投棄の慣行について、メディアの注目がほとんどないことは注目に値します。この問題は2005年の津波で明らかになり、放射性廃棄物を含む数百バレルが浜辺で洗い流されました。

☢核廃棄物の投棄



事件に関する最も主要な記事の1つ（ほんの数件の記事の中でGoogleで+/-ナンバー1）、英国ブリストルの「expertsure.com」で、🇯🇵日本による核水の計画された投棄が示されています2023年には多くの注目を集めました。これまでソマリアの海への放射性廃棄物の投棄はほとんど注目されていませんでした。

日本での最近の原子力災害に多くの注意と注意が向けられていることは悲劇的な皮肉のようですが、私たちの違法に投棄された危険な核廃棄物によって何十年も毒殺されてきた何百万ものソマリア人を保護するために何も言われていません。ここで本当の犯罪者の海賊は誰ですか？



CEO ExpertSure.com

昨日、BBCは、不自由な福島原子炉サイトの放射線レベルが通常の1000万倍であると報告しました。損傷を受けた原子力発電所の近くの海がますます多くの核放射線で汚染されるようになるにつれて、惑星の海がどれだけの放射性毒に耐えることができるかについての懸念が高まっています。

しかし、日本で起こっている災害ほど注目されていませんが、ソマリアの海に投棄されている大量の不法投棄された放射性核廃棄物は、さらに致命的な大惨事になる可能性があります。

ソース: [ExpertSure.com](https://www.expertsure.com) (PDF backup)

ソマリアからの海賊活動

2008年、ソマリアの海賊はこの地域の船を乗っ取り始め、武器船、石油タンカー、クルーズライナーなど、これまで以上に多作な標的を乗っ取り、所有者から巨額の身代金を引き出しました。

(2008) 2008年にソマリアの海賊に襲われた船のリスト

ソース: [ウィキペディア](#)


西側のメディアでは、海賊はソマリアの海での有毒廃棄物の投棄に関連する動機に言及することなく、野蛮人として紹介されました。

例としては、The Guardianの記事があります（「有毒廃棄物の投棄」についての言及は1つもありません）。

(2008) 野蛮なソマリアの海賊が世界の公海を支配する方法

それはヨーロッパの船への毎週の攻撃で世界で最も危険な海のストリップになりました。ソマリア沿岸沖では、残忍な海賊が豪華ヨット、広大なクルーズライナー、さらには食料援助船を乗っ取り、巨大な身代金を要求し、手に入れています。

ソース: [The Guardian](#)

複数の情報筋によると、海賊らは  欧州企業によるソマリア海への有毒廃棄物の投棄に関連した動機で行動したという。

(2009) 有毒な投棄場所として使用されるソマリアの海

各国政府とNGOは、国際海事法への侮辱として海賊の行動を非難したが、ソマリアでははるかに大きな犯罪が続いているという海賊の主張、つまり有毒廃棄物の不法投棄を検討した人はほとんどいなかった。

ソース: [エコロジスト](#)

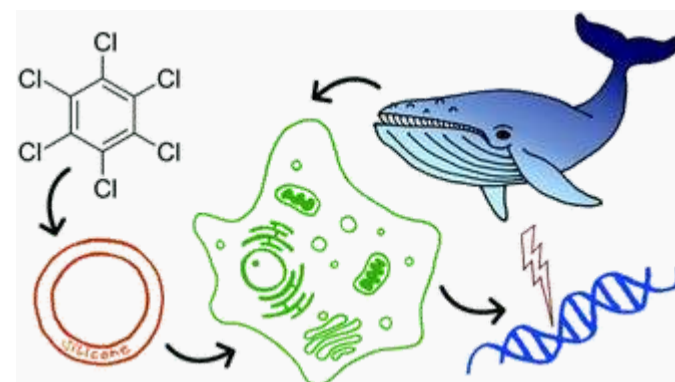
(2008) ソマリアの海賊行為の背後にある「有毒廃棄物」

ソマリアの海賊は、ヨーロッパの企業がソマリア沿岸から有毒廃棄物を投棄したとして非難し、捕獲したウクライナ船の返還のために800万ドルの身代金を要求しており、そのお金は廃棄物の浄化に使われると述べています。

ソース: [ビジネスと人権](#)

有毒化学廃棄物の投棄

ヘキサクロロベンゼン（HCB）などの一部の有毒化学廃棄物は、ヨーロッパでの処理が拒否されているため、ソマリアの海に投棄されています。ソマリアの地元住民は、ドイツとデンマークの海運会社が最近オーストラリアから60,000バレルのHCBを投棄したと報告しました。



1グラムのHCBは、10億ガロン（30億リットル以上）の水を汚染するのに十分です。

Royal Society of Chemistryによる最近の研究（2019）は、ザトウクジラがHCB汚染によって病気になり、さまざまな健康への影響、DNA損傷、および癌を引き起こしていることを示しました。HCBはクジラの汚染物質プロファイルを支配します。

(2019) ヘキサクロロベンゼンは、安定した曝露条件下でザトウクジラの細胞株に遺伝子毒性作用を及ぼします
ザトウクジラは、他の極地の野生生物と同様に、残留性有機汚染物質を蓄積します。南半球の人口では、ヘキサクロロベンゼン（HCB）が汚染物質のプロファイルを支配しています。HCBはさまざまな健康への影響に関連しており、グループ2Bの発がん性物質として分類されます。

ソース: [英国王立化学会](#)

ヨーロッパの海洋における有毒化学物質の「時限爆弾」

時を刻む時限爆弾が多くのヨーロッパの海の表面の下に横たわっています。北海とバルト海のドイツの部分だけでも、約160万メートルトンの遺物の弾薬が含まれていると推定されています。これらの通常の化学兵器は、人間の生命と海洋環境を脅かしています。武器、TNT、その他の爆発物はゆっくりと崩壊し、細胞毒性、遺伝子毒性、発がん性の化学物質などの有害物質を水中に放出します。



☢️ 2023年の🇯🇵日本による放射性水捨て場

福島第一原子力発電所事故の10年後、🇯🇵日本政府は2021年4月13日火曜日に、2023年に太平洋への放射性水の放出を開始することを決定しました。

ドイツ海洋科学研究所によると、水が海に投棄されると、放射性物質が57日以内に太平洋の大部分に広がり、10年以内にすべての海に広がり、海洋生物に災害を引き起こす可能性があります。

Fortune500企業による有毒廃棄物の投棄

1, 800億米ドルの石油会社TrafiguraBV（フォーチュン500ランク31）のCEOは最近、非常に有毒な有毒廃棄物でいっぱいのタンカーを海に投棄するように命じました。

Trafigura BVのCEOからスキッパーへ：

“**ドーバーを超えて、そして確かにバルト海ではありません。**”

Trafigura BVのCEOは、有毒な有毒廃棄物をバルト海に排出しないように警告する電子メールを送信しました。

これは特別な地域であり、ドーバーとバルト海の間ではないからです。退院は、ドーバーが通過するまで、ロメ（ナイジェリア）に向かう途中で行われたい可能性があります。

TrafiguraのCEOと会社の従業員との間の電子メールのやり取りは、EUから他の国への有毒廃棄物の輸送が禁止されていることを彼らが知っていることをさらに示しました。

(2009) 石油会社Trafiguraが有毒廃棄物処分場を隠そうとした方法

「苛性洗浄は、廃棄物（メルカプタン、フェノール）の危険な性質のため、ほとんどの国で禁止されています。」

ソース: [The Guardian](#)

海の代わりに、有毒廃棄物はコートジボワールに2万ドルの手数料で投棄されました。それにより15人が死亡し、10万人以上が重病になり、そのうち26,000人が投棄後に急性入院した。

(2022) コートジボワールの有毒廃棄物処分場がグローバリゼーションの「暗い下腹」を暴露

有害廃棄物の投棄の最も悪名高い事例の1つは南アフリカで発生しました。南アフリカでは、クワズールナタール州の工場が数千トンの処理済み水銀を嫌がりながら受け取り、陸地や海に無差別に投棄されました。

ソース: [世界政治レビュー](#)

オランダのフォーチュン500企業がそれを簡単に行うとき、Trafigura BVのCEOによる内部コミュニケーションから明らかのように、「**ドーバーを超えて、そして確かにバルト海ではありません。**」-既知よりも頻繁に発生します。

Trafigura BVによって投棄された有毒廃棄物は、外洋で行われるガソリンの価値を高めるプロセスの副産物でした。このような有毒廃棄物を生み出すかなりの利益の動機があり、処理が困難で費用がかかるため、予想よりも頻繁に海に投棄される可能性があります。

(2021) 科学者：「私たちがほとんど何も知らない海には、大量の化学物質の廃棄物があります」

産業会社は、有毒廃棄物の投棄場として海を利用してきました。有害な工業用化学物質と放射性廃棄物は、150年にわたって海洋に蓄積されてきました。

ソース: [Grist](#)

ノルウェー産の鯨肉が今日日本で受け入れられるように汚染されているという事実、そしてクジラの赤ちゃんが致命的なレベルの化学物質でいっぱいに漂着しているという事実は、有毒な廃棄物汚染が海洋に蓄積していることを示しています。個々のクジラが健康に生まれることができない程度。



あなたは助けたいですか？クジラとイルカの哲学を考えてみましょう。何を保護すればよいかわからない場合、人間はどのように動機付けられるのでしょうか。哲学は、人と海の関係における文化的変化を促進するのに役立ちます。

哲学から構造的に排除された女性

女性は哲学から構造的に排除されてきました。これは、動物と自然に代わって道徳と倫理の進歩が欠けている理由を説明するのに役立つかもしれません。

女性が哲学に参加したとき、世界はもっと良くなるのでしょうか？動物と海はもっとよく扱われるのでしょうか？自然を尊重することが重要である理由をよりよく理解できるのでしょうか。

(2021) クジラとイルカの知性について私たちは何を知っていますか？

「クジラは人間と同じくらい賢いのだろうか？」

ソース: クジラの科学者

2024年12月16日に印刷されました



GMOディベート
優生学に対する批判的な視点

© 2024 Philosophical.Ventures Inc.